

みんなの図書館

発行日 令和6年3月15日(金) (年4回発行)

第72号



発行者 木更津市立図書館
木更津市文京2-6-51
TEL 0438-22-3190
FAX 0438-22-7509

れきおんミニコンサートの 魅力に迫る！



みなさんは、当館で数か月に一度開催している、れきおんミニコンサートをご存じでしょうか？
平成29年から開催しているこのコンサートは、今年度の頭に20回を迎え、この3月に開催する「花見で一杯！」では22回目となります。

ここでは、当館で行っているそんなれきおんミニコンサートの歴史と魅力を、編成されたプログラムを通して改めて皆さんにお伝えしたいと思います！

れきおんミニコンサート、記念すべき第一回では、「童謡詩人 西条八十」をお届けしました。場所は現在のように会議室を利用したものではなく、郷土資料室で行いました。また、時間も20分。令和2年に入ってから毎回1時間、コンサートを行っていますので、始めた当初は探り探りでプログラムを組んだであろうことが偲ばれます。

第1回目のプログラム内容は以下の通りでした。

第1回れきおんミニコンサート【童謡詩人 西条八十】

(平成29年8月6日(日))

1曲目 「かなりや」

2曲目 「肩たたき」

3曲目 「毬と殿様」

4曲目 「お菓子の汽車」

5曲目 「お山の大將」



童謡は、れきおんミニコンサートにおける鉄板ジャンルです。耳に心地よいノイズの入るレコード盤・原盤の音源が誘う郷愁は、童謡というジャンルに大変しっくりときます。

続きまして、第8回のれきおんミニコンサートのプログラムをご紹介します。「1945 年の紅白音楽試合」です。

第8回れきおんミニコンサート【1945年の紅白音楽試合】

(平成30年12月2日(日))

- 1曲目「歌謡曲:悲しき子守唄」
- 3曲目「天龍下れば」
- 5曲目「Violin 独奏:ユーモレスク」
- 7曲目「ポピュラーボーカル:ポエマ」
- 9曲目「汽車ぽっぽ」
- 11曲目「流行歌:リンゴの唄」

- 2曲目「歌謡曲 誰か故郷を想はざる」
- 4曲目「出船の港」
- 6曲目「六段(上)(下)」
- 8曲目「歌謡曲:花言葉の唄」
- 10曲目「独唱:ペチカ」
- 12曲目「緑の地平線」



こちらは、1945年大晦日に実際に行われたラジオ放送「紅白音楽試合(紅白歌合戦の前身)」を、残された資料からわかる範囲で、当時のプログラムに沿ってご紹介したものです。バイオリンの「ユーモレスク」や、琴の「六段」が入っているのも、歌に限ってじゃなくて面白いですね。

第11回れきおんミニコンサート【いだてんと駆け抜ける戦前五輪ヒストリー】

(令和元年9月14日(土))

- 1曲目「合唱:国際オリンピック派遣選手応援歌」
- 2曲目「起てよ若人(オリンピック派遣選手応援歌)」
- 3曲目「日本放送協会著作権所有:水上競技実況放送(女子二百米平泳決勝)」
- 4曲目「二・二六事件放送記録(その一)」
- 5～8曲目「落語:火焰太鼓」
- アンコール曲「東京五輪音頭」



続いては第11回。れきおんから大河ドラマ「いだてん」の流れに沿った音源と、当館所蔵の金栗さん達の写真画像をご紹介しました。3番目の「水上競技実況放送」は、「前畑、頑張れ!」で有名なベルリンオリンピックの実況を録音したものです。アンコール曲の「東京五輪音頭」は、オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から借り受けた、「東京五輪音頭-2020-」のCDでした。

最後にご紹介するのは第15回、「音楽でめぐる世界旅行」です。

第15回れきおんミニコンサート【音楽でめぐる世界旅行】

(令和3年6月26日(土))

- 1曲目「花の広東航路」
- 2曲目「カチューシャの唄」
- 3曲目「ローレライ」
- 4曲目「管絃樂 ウヰリアム・テルー行進曲ー」
- 5曲目「私の太陽よ(オー・ソレ・ミオ)(O Sole Mio)」
- 6曲目「酒場の唄」
- 7曲目「庭の千草(The Last Rose of Summer)」
- 8曲目「フォスター名曲集(一)」
- 9曲目「青い目の人形」
- アンコール曲「ゴンドラの唄」



歴史的音源の中から異国情緒漂う曲を選出し、それらの曲に合わせて、世界旅行を楽しむというものでした。また、1曲目の「花の広東航路」を歌ったのは岡晴夫さん、アンコール曲の「ゴンドラの唄」を歌ったのは松井須磨子さんで、どちらも木更津にゆかりのある方で構成されています。

れきおんミニコンサートは今後も開催する予定です。皆様のご参加を心からお待ちしています。

図書館で知識を深めよう！

&

博物館金のすずへ行って実物を見よう！

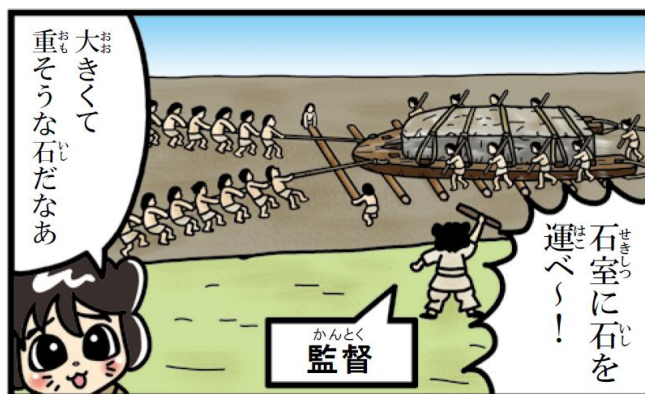
図書館は、博物館金のすずからの呼びかけに応じる形で、令和 6 年 3 月 5 日～5 月 6 日の期間、春の企画展「古墳時代の謎の木の道具たち」のサテライト会場として企画展示に関連する図書館の資料を、図書館 2 階郷土資料室に展示することになりました。これは、博物館金のすずとの初のコラボ企画となります。

気になる博物館金のすずの展示内容ですが、国内で 2 例目となる松面(まつめん)古墳周溝から出土した「修羅」と呼ばれる木製の「そり」の一部をはじめ、菅生(すごう)遺跡から出土した木製品などが展示されています。大きな古墳を造った当時の道具、日頃の生活や祭祀の一端を紹介しています。いずれの展示出土遺物も水分を多く含む地層にパックされた格好で、千年以上も腐食せずに残っていた木製品です。

図書館では、会期中、より知識を深めていただけるよう、博物館金のすず企画展に係る資料を展示しております。どうぞ手に取ってご覧ください。

国内で 2 例目っていうけど、
修羅(しゅら)って
なんだろう？

大きな石を運ぶ
「そり」のことだよ！



「教えてきさポン 金鈴塚のひみつ」木更津市教育委員会より引用

☆松面(まつめん)古墳：木更津朝日（現在のホリデースポーツクラブ周辺）にあり、金鈴塚古墳を含む浜長須賀古墳群の古墳の一つ。1 辺 44mの大型方墳。横穴式石室から金銅装双龍環頭大刀等が出土しているほか、今回国内 2 例目となる修羅の破片や土器・須恵器・木製品等多数出土。

☆菅生(すごう)遺跡：木更津市菅生(小櫃川沿い、現在の東邦病院周辺)にあり、弥生時代中期～古墳時代後期の住居跡や類例の少ない弥生時代中期の鉄斧や古墳時代後期の木製農具が多数出土。

「絵葉書でみる昔の木更津展」開催中！

郷土史家の坂井昭さんからご寄贈いただいた絵葉書の一部を2階ロビーで展示しています。

「水辺のようす」と題した川辺や海岸等の展示、「施設のようす」と題した学校、社寺等の展示、「まちのようす」と題した大正期から昭和初期の名所、街並み等の展示をお楽しみください。



わたしの思い出の1冊 ～記憶の中に深く刻まれている1冊をご紹介します～

『窓ぎわのトットちゃん』 黒柳徹子/著 ㍿ F/クロ

図書館員 ヒロ

もしかしたら、私の「人生を変えた一冊」って、この本なのかもしれない。

出会いは、小学校5年生。当時の担任の先生が、トモ工学園式授業(好きな教科からやっていい!)を取り入れてくれて、毎日がキラキラ輝いていた。

時が経ち、子供が生まれてからは、トモ工の小林校長先生の「もどしとけよ。」が、いつも心に在った。落とした財布を探して、一人黙々と便所の汲み取りをしていた一年生のトットちゃんに、小林先生がたった一言、かけた言葉だ。

出会いから40年。私は未だに、これほど愉快で、核心を突いた物語を他に知らない。

《レファレンス・トリビア》

★「レファレンス」とは情報を求めている利用者に対し、図書館員が提供する個人的援助を言い、貸出と並んで図書館サービスの中心となる業務です。

R010/ト 『図書館用語集 3訂版』 日本図書館協会用語委員会 編

Q 木更津の昭和橋と大正橋の間に、橋がかかっていたことがあるらしい。その橋の名前等について知りたい。

A 木更津の昭和橋と大正橋の間というと、かなり詳しい地図でないと確認ができなそうです。『木更津市動態図鑑 昭和39年度版』の12図で確認ができました！しかし『木更津市動態図鑑昭和34年度版』の12図では、その橋は見つかりません。地図が描かれるにあたってタイムラグはあるかと思いますが、どうやら昭和34年から39年の間頃にかかれた橋のようです。ただ、橋の描かれた地図を見ても橋の名前がありません。「大正橋」の名前はしっかりと記載されているのですが……。

この橋が地図から消えたのは昭和57年の『ゼンリンの住宅地図 木更津市'82』でした。最後に描かれたのは昭和54年の『ゼンリンの住宅地図 木更津市'79』です。そして、この住宅地図や、間の年の住宅地図にも橋の名前はありません。橋が昭和30年代から50年代の間に架けられていたことは確認できましたが、『木更津地名散歩』(高崎繁雄//著)にも橋の名前は書かれていませんでした。

ここまで調べたところで、「木更津市郷土博物館金のすず」にも尋ねてみました。結果、金のすずの知恵袋の学芸員さんも、この橋の名前についてはわからないとのこと。また、学芸員さんから「君津土木事務所(木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市の道路及び河川の維持管理等を行う県の機関)ならわかるかもしれない」と教えてもらい、問い合わせましたが、こちらでもわからなく、「専門家の知識を集結しても、名前はわからず」が、回答になった事例でした。もし、橋の名前を知っている方がいらっしゃったら、是非郷土資料室の丸山まで、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記 ようやく、寒さも和らいできました。先日、食卓にもふきのとうが。春が来ましたね。(マル)

春は、卒業や入学、就職など、別れと出会いの季節でもあります。別れの涙、新しい旅立ちへの期待と喜び…花が芽吹き、また散り行くように、それらすべてのことから、新しい何かが生まれますように。(ヒロ)